住みたい 住み続けたいまち
ともにつくろう みんなの夢大地

令和６年度

更別村の概要

令和6年7月

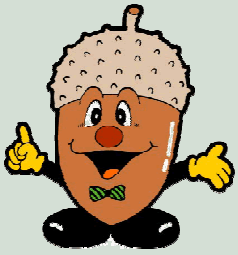
更 別 村 民 憲 章

わたくしたちは、開拓精神に燃える更別の住民です。
常に先人の労苦をしのび雄大な平原を舞台に、
未来に大きく伸びゆく郷土を創造する村民となるため、この憲章を定めます。

1　心とからだをきたえ、明るい村をつくりましょう
1　きまりを守り、力を合わせて住みよい村をつくりましょう
1　教養を高め、うるわしい文化の村をつくりましょう
1　広く産業をおこし、豊かな村をつくりましょう
1　郷土を愛し、平和な村をつくりましょう

Ⅰ　更別村の沿革

1．村章、村の木・花・村歌・更別音頭

	『村章』 「更別」の村名を農産物であるじゃがいもやクローバーに模した葉形で包み、風雪に耐えぬいた先人の開拓者精神をもとに、未来へ大きく翔くことを表しています。昭和22年、更別村が大正村から分村して誕生したのを機に翌年条例で制定されました。
	『村の木　柏（かしわ）』 更別村に開拓の鍬がおろされるまでは、柏樹林が多く、先人はこの柏の木を薪炭、坑木、枕木などに販売して経済の支えとしていました。柏の巨木は、開発とともに希少価値が高く、また無骨なたくましさが男性的で、大きく伸び行く更別村を象徴しています。
	『村の花　鈴蘭（すずらん）』 鈴蘭は、植物の特性から柏樹林に生息する草花で、柏と鈴蘭は対の草木です。鈴蘭は、葉の下に花をもち、純白、清純で香り高く美しく咲き、女性的な花で、無限に発展する更別村を象徴しています。
	『村のイメージキャラクター　どんちゃん』 昭和60年誕生 特産品ＰＲのためにイメージキャラクターを作ることになり、村の木である柏に成る実のどんぐりをモチーフとして作られました。小さな実から大きな木に育つように、村も発展して欲しいという願いが込められています。
更別村歌	昭和23年制定。作詞三村鴻太、作曲西田直道
更別音頭	昭和48年8月1日決定

２．位置と地勢

更別村の位置や自然条件をまとめると、次のとおりである。

●北海道、十勝地方の南部に位置。東は幕別町、西は中札内村、南は大樹町、北は帯広市に接している。帯広市まで35km。
●総面積176．90k㎡。東西25．3km。南北14．7kmで、東西に少し長めの土地。
●日高山系の東側に位置。北東に向かってゆるやかに流れて傾斜。一部起伏があるものの、多くは平坦な土地。
●総面積のうち、耕地面積が66%。
●十勝内陸地方の気候で、年平均5～6度、年間降水量は1，200mm前後。降雪量は200cmと比較的多目。
●夏は寒暖の差が大きく、冬は日照時間に恵まれている。

３．更別村の特徴

冷涼で寒暖の差の大きい更別村は、農業に最適な土地。広大な土地を生かした大規模機械化農業は、一戸当たりの経営面積、トラクター所有台数ともに日本最大規模を誇ります。

４．歴史・沿革

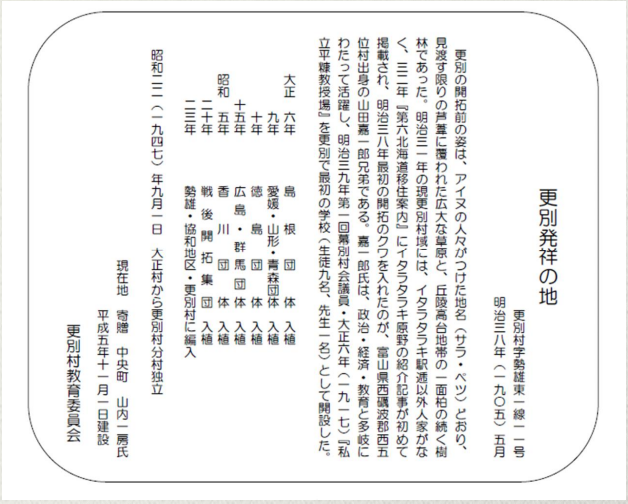
更別村の語源はアイヌ語の『サラ・ペツ』で葦・茅の生い茂る地の意味で、開拓前のサラベツ川、サッチャルベツ川流域は大草原地帯であった。

また、丘陵、高台地帯は柏の巨木が鬱蒼とした樹林帯を形成していた。サラベツ村開拓の歴史は、明治38年勢雄川流域（字勢雄東1線11号付近）に嘉一郎が開墾の鍬をおろしたのが本村の始まりで、本格的には、大正6年に島根県、大正9年には愛媛・山形・青森県等から団体入植があり、昭和初期までに150戸以上の入植者を数えた。

現在の村内地域はほとんどが幕別村（現幕別町）に属していたが、開発が進むにつれ行政・経済等の不便さから大正15年に一部の地域を除き大正村（現帯広市）に行政区画が変更された。

しかし、それでも更別村と大正村との立地条件の違いと更に行政の不便さがあったこと等から住民の新村結成運動が展開された。

その結果、昭和22年9月1日地方自治法に基づく『更別村』の誕生を見、翌23年4月には幕別町の一部（勢雄・協和地区）を編入合併して現在に至っている。



更別発祥の地

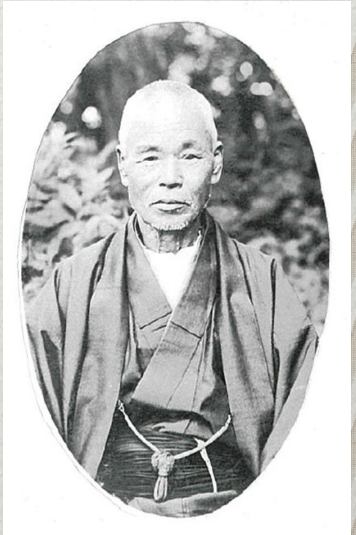
更別村字勢雄東一線一一号
明治三八年（一九〇五）五月

更別の開拓前の姿は、アイヌの人々がつけた地名（サラ・ペツ）どおり、見渡す限りの葦葦に覆われた広大な草原と、丘陵高台地帯の一面柏の続く樹林であった。明治三一年の現更別村域には、イタラタラキ駅逓以外人家がなく、三二年『第六北海道移住案内』にイタラタラキ原野の紹介記事が初めて掲載され、明治三八年最初の開拓のクワを入れたのが、富山県西礪波郡西五位村出身の山田嘉一郎兄弟である。嘉一郎氏は、政治・経済・教育と多岐にわたって活躍し、明治三九年第一回幕別村会議員・大正六年（一九一七）『私立平賜教授場』を更別で最初の学校（生徒九名、先生一名）として開設した。

大正　六年　島根団体入植
九年　愛媛・山形・青森団体入植
十年　徳島・群馬団体入植
昭和　十五年　広島団体入植
二十年　香川団体入植
二三年　戦後開拓集団入植
勢雄・協和地区・更別村に編入

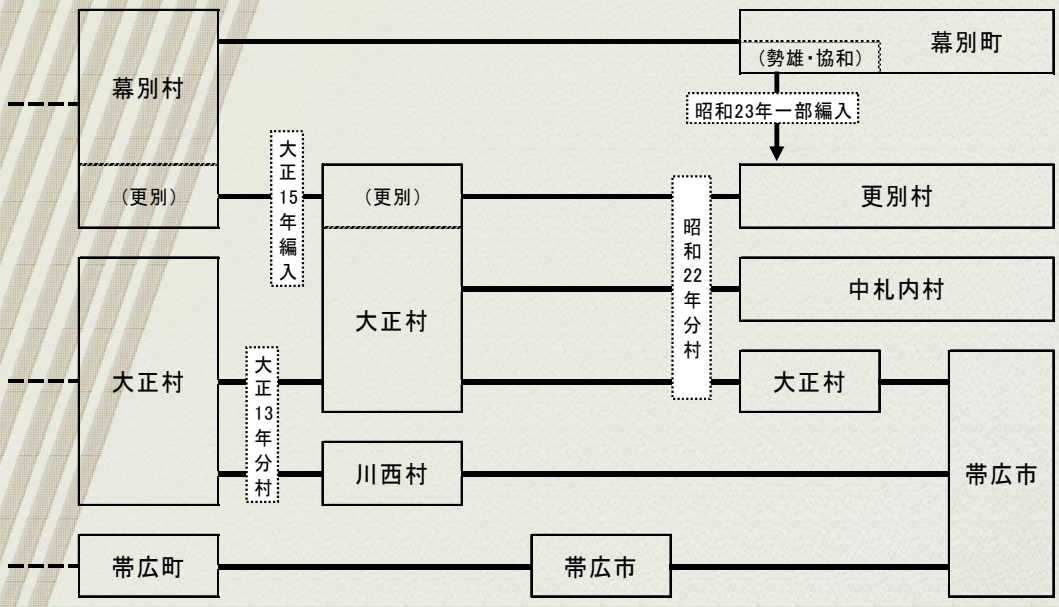
昭和二二（一九四七）年九月一日　大正村から更別村分村独立

現在地　寄贈　中央町　山内一属氏
平成五年十一月一日建設
更別村教育委員会



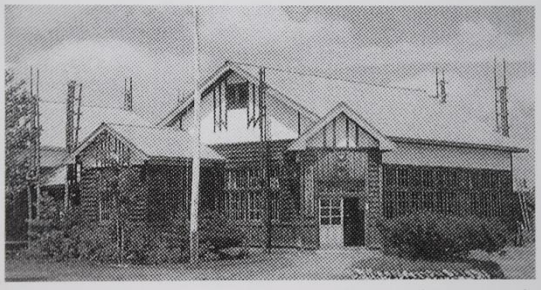
開拓者　山田嘉一郎翁

５．更別村のあゆみ



年　　号	関連写真
明治38年　山田嘉一郎による開拓（明治38年5月、勢雄）	
昭和22年　大正村から分村独立（昭和22年9月1日）	
昭和23年　村役場庁舎落成	
昭和24年　勢雄・更南中学校開校と更別・上更別・更南中学校庁舎落成	
昭和26年　大樹高等学校更別分校開校	
昭和29年　国民健康保険更別診療所新築	
昭和30年　上更別診療所新築	
昭和35年　更別高等学校庁舎落成	
昭和38年　上更別のヤチカンバが北海道天然記念物に指定	
昭和39年　日本合同缶詰更別工場操業開始	
昭和40年　第1次農業構造改善事業に着手	
昭和44年　更別・上更別市街地の街頭放送開始	
昭和45年　社会福祉センター落成・村民プール完成	
昭和46年　勢雄中学校が更別中学校へ統合、総合計画完成、地籍調査着手	
昭和47年　開村25周年記念式典挙行、村木『柏』・村花『すずらん』決定、更別村史発刊、更別食品㈱設立	
昭和49年　簡易水道・営農用水共用開始、更別・上更別両幼稚園開園、消防救急車配置	

更別発祥の地


役場庁舎（昭和23年）

更別市街地工事

年　　号	関連写真
昭和52年　農村総合モデル事業着手、開村30周年記念式典挙行	
昭和53年　全村の中学校を統合し更別中央中学校が開校、集落再編成により行政区設置	役場新庁舎（現在）
昭和54年　第1回ふるさとまつり開催	
昭和55年　9月1日を『開村記念日』に制定、現役場庁舎・消防庁舎完成	
昭和57年　更別高等学校道立移管、柔剣道場完成	
昭和58年　農村環境改善センター完成、現更別小学校校舎新築	トレーニングセンター完成
昭和59年　更南・勢雄小が更別小へ統合、更生・上協和小が上更別小へ統合、村民グランドを運動広場に、農業者トレーニングセンター完成	
昭和61年　少年自然教室オープン、運動広場にゲートボール・テニスコート完成、道営畑地帯総合土地改良事業着手	
昭和62年　開村40周年記念式典挙行、国鉄広尾線廃止	
平成 元 年　村行政事務の電算処理開始	
平成 2 年　どんぐり公園パークゴルフ場西コース完成、更生小が上更別小学校へ統合	
平成 3 年　北海道ミニ独立国連邦サミット開催、国際スープフェスティバル開催	
平成 4 年　どんぐり公園パークゴルフ場東コース及びプラムハウス完成、リサイクルセンター完成	カントリーパークオープン
平成 5 年　コミュニティープール完成、十勝インターナショナルスピードウェイオープン、さらべつカントリーパークオープン	
平成 6 年　老人保健福祉センター完成、福祉の里温泉オープン、屋内ゲートボール場オープン	福祉の里温泉オープン
平成 7 年　上更別福祉館改築、東神橋建設、シルバーハウジング建設・全道4番目のLSA（生活援助員）付き住宅建設スタート	
平成 8 年　村民バス運行開始	
平成 9 年　更別村ふるさと館完成、開村50周年記念式典挙行、農村公園記念モニュメントにタイムカプセル埋設、宮城県矢本町と姉妹町村締結	道の駅さらべつオープン
平成10年　防災行政無線システム更新、どんぐり商品券発行開始	
平成11年　情報拠点施設観光と物産の館『道の駅さらべつ「ピポパ」』オープン、更別村地域振興券交付、農村公園にイルミネーション登場	

年　　号	関連写真
平成12年　公的介護保険制度スタート、道の駅ピポパ改装、子育て支援用具貸出開始	
平成13年　更別市街下水道供用開始、更別村高齢者生活福祉センター建設事業着手、国保診療所が医療法人社団カレスアライアンスと医療業務提携調印（医師2名体制）	
平成14年　更別村高齢者生活福祉センター（福祉の里総合センター）完成、グループホーム元気の里さらべつ開設	
平成15年　更別村農業協同組合新事務所完成、家庭系ごみ処理有料化スタート、第1回国際トラクターBAMBA開催、更別村景観保全条例制定、「十勝中央合併協議会」設置（幕別町・更別村・忠類村）、上更別市街下水道開始	
平成16年　開拓100年記念式典開催、更別小学校開校80周年、民設民営の認可保育所「どんぐり保育園」完成、更別村国民健康保険診療所移転改築オープン、上更別地域協働店舗オープン（有限責任中間法人オアシス運営）、「十勝中央合併協議会」離脱（住民アンケート6割が自立を支持）	
平成17年　「協働のむらづくり住民検討会議」設置、姉妹町村「矢本町」が合併により「東松島市」となったことに伴い姉妹都市締結、ニチロ十勝食品新工場完成（更別食品から改組）、大津広美さん（更別区出身）トリノ冬季五輪出場、更別幼稚園改築オープン	
平成18年　「受益と負担」の原則から施設使用料等を有料化、定住化対策の一環として「アグリチャレンジャー事業」に着手、「リラクタウン構想」計画の決定、天皇・皇后両陛下行幸啓（9月9日）	
平成19年　「農地・水・環境保全向上対策」の活動地域として上更別地域資源保全会が村と協定締結、コムニ団地分譲開始、29年ぶりに村長選挙実施、更別中央中学校開校30周年	
平成20年　高速無線情報通信網の完成により農家地区でインターネット快適化、コムニの里さらべつ（小規模特別養護老人ホーム・小規模多機能型居介護施設：社会福祉法人博愛会）オープン、エコスクール事業着手、更別村公益通貨「サラリ」流通開始（特定非営利活動法人どんぐり村サラリ）、更別村教育の日を制定	
平成21年　更別憩の家移転新築竣工、更別村地域新エネルギービジョン策定、更別小学校に公共施設初の太陽光発電システム導入	
平成22年　新生「十勝スピードウェイ」営業開始、㈱マルハニチロ北日本本社設立、上更別小学校開校80周年、更別村市街地活性化実施計画策定、戸籍電算化システム運用開始	
平成23年　東日本大震災による友好姉妹都市宮城県東松島市の被災地支援のため義援金・物資提供・応援職員の派遣を実施、マイマイガ大量発生、国際トラクターBAMBA実行委員会が第5回「わが村は美しく－北海道」運動コンクールで最高賞の金賞を受賞	

年　　号	関連写真
平成24年　更別浄化センター太陽光発電設備導入、帯広地方石油業協同組合と「災害時における石油類燃料の供給に関する協定」締結、福祉の里温泉入浴者100万人達成、公営住宅（若葉団地）建設工事着手、グループホーム「元気の里さらべつ」移転新築、開村65周年記念札幌交響楽団更別公演開催、国際トラクターBAMBA実行委員会が「豊かなむらづくり全国表彰事業村づくり部門」で農林水産大臣賞受賞、更別市街地区にNTT東日本「フレッツ光」サービス開始、社会福祉センター公衆無線LAN（フリースポット）設置、開村50周年「メッセージポスト」が15年を経て差出人（本人）へ送付	
平成25年　高規格道路幹線道路帯広・広尾自動車道中札内IC～更別IC間開通、第1回さらべつ大収穫祭開催（ふるさとまつりから時期変更、名称変更にて開催）、第1回さらべつすももの里まつり開催、ティー・ワイによるメガソーラー施設「さらべつソーラーパーク」稼動、更別小学校ユネスコスクールに認定	
平成26年　さらべつさんうどんアイデアレシピコンテストグランプリに更別農業高等学校2年加工分会B「すももおろしうどん」、ツール・ド・北海道が更別村も会場に開催、北海道日本ハムファイターズB・B来村、フリースポット増設、農村公園大型遊具完成	
平成27年　高規格幹線道路帯広・広尾自動車道更別IC～忠類大樹IC間開通、 統一地方選挙更別村長・更別村議会議員選挙実施、更別森林組合と災害時応急対策支援の協定締結、プレミアム商品券発売、更別街なか交流館ma・na・ca竣工、十勝スピードウェイ・メガソーラー供用開始	
平成28年　「フローズンパンツ」ギネス世界記録挑戦、消防広域化により南十勝消防事務組合更別支署から「とかち広域消防事務組合更別消防署」へ移行、子育て応援課設置、子ども医療費助成制度を高校3年生まで拡大、マルハニチロ北日本㈱十勝工場がエア・ウォーター十勝食品株式会社へ移行	
平成29年　地域創造複合施設竣工、更別農業高校とエア・ウォーター十勝食品株式会社が共同で特産品開発、十勝さらべつ熱中小学校開校、開村70周年記念事業開催、哺育・育成牛預託施設共用開始、更別村商工会青年部創立50周年、北海道日本ハムファイターズ更別村応援大使来村	
平成30年　認定こども園上更別幼稚園改築オープン、福祉の里総合センターで公衆無線LANサービス開始、老人保健福祉センター内に「訪問看護ステーション　かしわのもり　はれ」開設	
令和元年　医療法人社団秀和会による歯科診療所の運営開始、コミュニティ・スクールが始動、道の駅さらべつ創業20周年記念感謝祭開催、元内閣総理大臣小泉純一郎氏講演会開催、昭和区及びふるさと館周辺でauの第5世代移動通信システム（5G）のサービス開始、学童保育施設「こどもの森」竣工	
令和2年　新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止によりイベント中止・事業延期・小中学校休校・高校休校・外出自粛、さらべつプレミアム付地域応援商品券販売、感染防止対応（マスク、フェイスシールド、消毒、非接触式体温計、デジタルサイネージ）実施、マイナポイント開始、こどもの森オープン、東日本大震災から10年、どんぐり村子ども会議初開催、スーパーシティフォーラム（片山さつき参議院議員講演）開催、村Facebook開設、定住化促進住宅改修完了	

年　　号	関連写真
令和3年　新コムニ団地分譲開始、地域創造複合施設「sarapark」へ改称、新型コロナウイルスワクチン接種開始、地方創生戦略推進本部設置、更別村ゼロ・カーボン宣言、北海道家庭医療学センター連携20年、カフェゆーゆ始動、結婚新生活支援事業開始、更別村乗合タクシー導入、防災メール開始、最大瞬間風速31.5kmを観測した暴風被害発生、ふわふわドーム整備	
令和4年　光回線村内全域整備完了3月15日サービス提供開始、すももの里に記念植樹、コミュニティーナース着任開始、更別村スーパービレッジ構想策定（デジタル田園都市国家構想推進交付金採択）、友好姉妹都市交流30周年感謝状贈呈、さらべつ生活応援クーポン券全世帯配布、開村75周年（9月1日開村記念日）、更別農業高等学校開校70周年ひまわりアート実施、さらべつ大収穫祭3年ぶり開催、マイナンバーカード申請2000人超、地域活性化起業人制度（企業人材派遣）により着任開始、更別村スーパービレッジ構想事業開始（ひゃくワクサービス、すいすい村内移動ほか）、村の年末年始休日が変更（12月29日～1月3日に）	 スーパービレッジ構想
令和5年　民間建設サテライトオフィス完成、共通回数券発券終了、体育施設（コミュニティープール・トレーニングセンター・柔剣道場）指定管理者制度導入、J-coin配布・利用開始、市街地Wi-Fi順次設置開始、更別森林組合が大樹町森林組合と合併、カフェゆーゆ常設開始、デジタル庁河野太郎大臣が来村、Social Knowledge Bank（ソーシャルナレッジバンク）合同会社設立、統一地方選挙実施、クリーン作戦4年ぶり実施、すももの里ライトアップ実施、統一地方選挙終了新体制始動、十勝バス減便、吉田豊さん文部科学大臣表彰、さらべつ生活応援クーポン券全世帯配布、さくさく行政届出開始、新農業委員会委員任命、更農ひまわり迷路スタート、saraイルミスタート、ふるさと納税3億円超え、大型家具出張買取第1回実施	 サテライトオフィス完成
令和6年　北海道日本ハムファイターズ北海道応援大使プロジェクトの実施エリアに十勝が選定、大谷翔平選手「グローブ寄贈プロジェクト」実施、更別村コミュニティスクール5年目に、スーパービレッジ構想「ひゃくワクサービス」がサブスクに、更別村乗合タクシー拡充、洪水ハザードマップ完成、更別村こども家庭センター開設、住民票と印鑑証明書のコンビニ交付開始、書かない窓口スタート、国保診療所増改築完了、更別村起業・創業等支援事業助成金創設、野球少年団更別ジャガーズ十勝大会優勝、更別農業高等学校「漬物グランプリ2024」準グランプリ	

６．更別村の主なイベント

開催月	イベント名	イベント内容
5月	すももの里まつり	すももの花が見ごろを迎える時期に開催され、多くの家族連れなどで賑わう。
8･9月	ママチャリ耐久レース	十勝スピードウェイを会場に開催される耐久レース。毎年、多くの挑戦者が挑んでいる。
8月	どんぐりむらの盆踊り	毎年、お盆に開催され、役場前通りが家族連れで賑わう。
9月	更別神社秋季祭典	毎年9月1日に御輿と神社まつりが行われ、豊作を願う。
	上更別豊年踊り 上更別神社秋季祭典	毎年9月1日に豊年踊り、翌2日に神社の秋祭りが開催される。
10月	さらべつ大収穫祭	更別村の食を楽しむイベント。旬の野菜や美味しい食べ物を目当てに多くの方が来場する。
11月	村芸能発表会、展示会	発表会では幼稚園、小中学校、芸能団体による発表が行われ、展示会では保育園、幼稚園、小中学校、高校、文化団体による展示が実施される。
12月～2月	saraイルミ	12月から2月の間、農村公園の木がイルミネーションに彩られ、さらべつの冬を演出する。

すももの里まつり

ママチャリ耐久レース

さらべつ大収穫祭

イルミネーション

Ⅱ　更別村の人と土地

更別村の人口推移は減少傾向にあるものの、子育て世帯への支援の充実等により比較的ゆるやかな減少でとどまっている状況です。また、民間賃貸住宅建設助成、新築住宅建設助成等もあり住環境整備が進んでいます。宅地分譲も進められ、すずらん団地、新緑町団地、セオイの里は完売し、現在はコムニ団地、民間で整備したオークヴィレッジの他、令和３年度からは新コムニ団地の分譲を開始しました。

１．人口と世帯数

【国勢調査（外国人含む）】

（世帯、人）

年／区分	世帯数	人口			一世帯平均人口
		総数	男	女	
昭和60年	1，012	3，571	1，762	1，809	3．5
平成2年	1，003	3，433	1，669	1，764	3．4
平成12年	1，093	3，291	1，618	1，673	3．0
平成17年	1，190	3，326	1，645	1，681	2．8
平成22年	1，274	3，391	1，699	1，692	2．7
平成27年	1，239	3，185	1，567	1，618	2．6
令和2年	1，311	3，080	1，518	1，562	2．3

※国勢調査世帯及び人口は住民基本台帳とは異なり、住所がなくとも３か月以上滞在している居住者及び世帯を対象に調査を実施。そのため、施設入所者・長期入院者・大学生等の村外居住者は滞在先での調査となるため本村の国勢調査対象世帯及び人口には含まれない。

【住民基本台帳人口及び世帯（外国人含む）】

（世帯、人）

年／区分	世帯数	人口			一世帯平均人口
		総数	男	女	
令和2年3月末	1，331	3，156	1，559	1，597	2．4
令和3年3月末	1，349	3，160	1，555	1，605	2．3
令和4年3月末	1，368	3，176	1，561	1，615	2．3
令和5年3月末	1，362	3，155	1，542	1，614	2．3
令和6年3月末	1，365	3，108	1，528	1，580	2．3

※住民基本台帳は本村に住民登録されている世帯及び人口。

２．５歳階級別人口【住民基本台帳　令和６年３月末日現在】

（人、歳）

区分	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～90	90以上
男	55	69	69	76	63	68	82	92	100	109	105	100	98	115	106	57	58	55	48
女	72	65	57	70	44	56	79	83	82	93	92	123	98	112	104	83	97	77	87

３．土地利用状況【固定資産概要調書】

（ha）

年度／区分	総面積	内訳						
		畑	宅地	山林	牧場	原野	雑種地	その他
令和元年	17,690	12,216	326	1,114	338	464	298	2,934
令和2年	17,690	12,219	329	1,107	337	465	299	2,934
令和3年	17,690	12,253	333	1,100	312	460	298	2,934
令和4年	17,690	12,270	335	1,092	312	446	297	2,938
令和5年	17,690	12,275	342	1,059	312	446	316	2,940

Ⅲ　更別村の産業の現状

村の基幹産業として農業はこれまで大きく発展を続けてきました。かつては、低地湿地であった土地に大変な思いをして農業を営んでいましたが、排水事業や農地造成、土地基盤整備が進み、豊かな恵みを生み出す大地と生まれ変わりました。最近では、減化学肥料、減農薬による環境にやさしい農業への取り組みも進めています。地球環境に負荷をかけない農業はまず土づくりからと堆肥づくりを行っています。

１．産業別就業人口【令和２年国勢調査】

（人、％）

項目／区分	総数	産業別		
		第１次	第２次	第３次
就業人口	1，803	813	154	836
割合	100．0	45．1	8．5	46．4

２．経営耕作地規模別農家戸数（販売農家）

【世界農林業ｾﾝｻｽ(平2・平12・平22)、農林業ｾﾝｻｽ(昭60、平7、平17、平27、令２)　（戸）

年／区分	総農家戸数	内訳						
		0.1ha～10ha未満（経営耕地なし含）	10ha～15ha未満	15ha～20ha未満	20ha～30ha未満	30ha～40ha未満	40ha～50ha未満	50ha以上
昭和60年	361	24	11	26	132			168
平成2年	325	19	7	11	109	133	37	9
平成7年	284	11	4	8	56	96	76	33
平成12年	261	12	5	6	30	76	80	52
平成17年	247	10	3		22	130		82
平成22年	233	7	2		10	110		104
平成27年	223	9	1		8	105		100
令和2年	221	11	1		8	96		105

※自給的農家含まず。

３．農業の推移（販売農家）

【世界農林業ｾﾝｻｽ(平2・平12・平22)、農林業ｾﾝｻｽ(昭60、平7、平17、平27、令２)】

区分／年		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
農家数／戸	総　数	361	325	284	263	247	235	224	221
	専　業	281	211	181	177	171	135	147	―
	第1種兼業	65	93	98	79	73	94	68	―
	第2種兼業	15	21	5	5	3	4	8	―
	自給的農家	-	-	-	2	0	2	1	0
農家世帯人口／人	総　数	1,758	1,625	1,493	1,401	1,319	1,232	1,121	―
	1戸当り平均	4.9	5.0	5.3	5.4	5.3	5.3	5.2	―
農家就業人口／人	総　数	1,146	1,045	954	899	842	782	803	708
	1戸当り平均	3.2	3.2	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6	3.2
経営耕地面積／ha	総　数	10,383.16	10,482.01	10,337.70	10,270.57	10,766.00	10,999.00	11,184.00	10,858.00
	1戸当り平均	28.8	32.3	36.4	39.4	43.6	47.2	50.2	50.5
	畑	7,732.89	8,060.67	9,599.08	9,948.85	8,476.00	8,921.0	8,328.0	9,022.0
	牧草専用地	2,650.27	2,421.34	738.62	321.72	2,290.00	2,078.0	1,874.0	1,833.0
トラクター保有台数／台	総　数	860	917	977	1,053	1,097	1,093	1,224	1,333
	1戸当り平均	2.4	2.8	3.4	4.0	4.4	4.6	5.5	6.0

※農家数総数に自給的農家含
※農業就業人口ついて、昭60は自家農業に従事した世帯員数、他は自営農業に主として従事した世帯員数
※トラクター保有台数は歩行型を除いた数値
※トラクター保有台数はR2より軽自動車税賦課集計表の台数で算出
※経営耕地１戸当り平均の算出に使用する農家数は経営耕地のある実経営体数

４．家畜飼養頭数の推移（販売農家）

【世界農林業ｾﾝｻｽ(平2・平12・平22)、農林業ｾﾝｻｽ(昭60、平7、平17、平27、令２)】（戸、頭）

年／区分	乳　用　牛		肉　用　牛		馬	
	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数
昭和60年	7,423	156	846	12	37	9
平成2年	7,376	138	786	6	52	7
平成7年	7,293	103	656	32	44	7
平成12年	7,073	84	1,709	30	23	4
平成17年	6,671	74	1,117	27	―	―
平成22年	6,193	64	1,836	33	―	―
平成27年	5,621	51	1,498	24	―	―
令和2年	5,051	40	(x)	31	―	―

※(x)は国により公表していない数値

データでみる更別

５．主要作物作付面積の推移【村産業課・更別村農協】　（ha）

年／区分	総面積	内訳					
		小　麦	馬鈴薯	豆　類	甜　菜	飼料作物	その他
令和元年	10,923	1,908	1,963	2,317	1,872	2,349	514
令和2年	10,928	1,931	1,915	2,374	1,876	2,298	534
令和3年	10,884	1,958	1,868	2,325	1,914	2,267	552
令和４年	10,940	2,051	1,988	2,215	1,877	2,303	506
令和５年	10,930	2,076	2,043	2,291	1,845	2,157	111

６．生乳生産量【更別村農協】

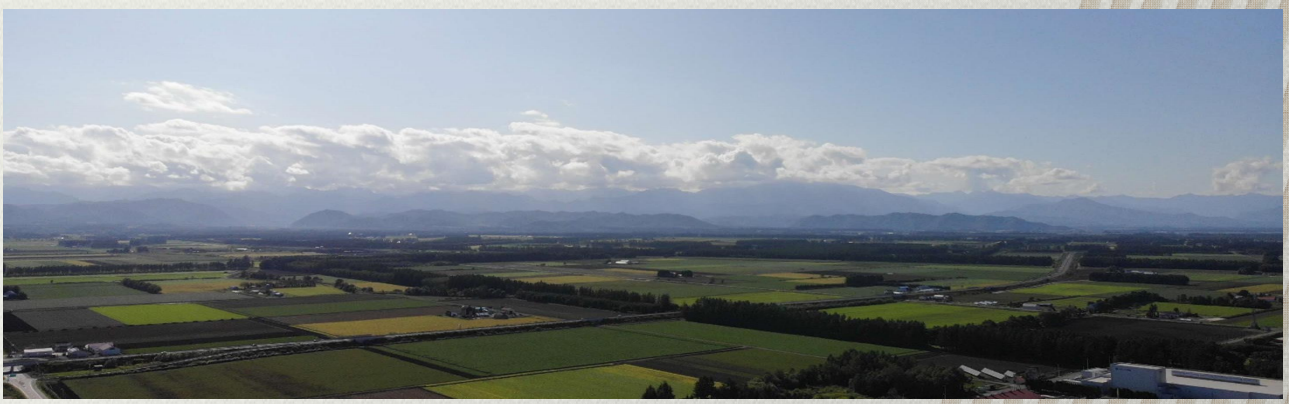
	生産量(t)
令和元年	26,707
令和2年	27,123
令和3年	26,320
令和4年	26,290
令和5年	25,070

7. 更別村営牧場の状況【産業課】

年度／区分	放牧面積	乳牛	和牛	馬
令和元年	97.7ha	186頭	21頭	0頭(子　頭含)
令和2年	120.2ha	232頭	17頭	0頭(子　頭含)
令和3年	79.3ha	157頭	10頭	0頭(子　頭含)
令和４年	81.0ha	129頭	9頭	0頭(子　頭含)
令和５年	97.9ha	113頭	54頭	0頭(子　頭含)

８．商業の推移【商業統計調査・商業統計簡易調査・経済センサス－活動調査】

年／区分	商店数の推移		従業員数の推移	
	小売業	卸売業	小売業	卸売業
昭和63年	32所	11所	116人	23
平成6年	45所	6所	150人	14人
平成14年	37所	6所	138人	40人
平成19年	30所	9所	94人	42人
平成26年	24所	5所	92人	24人
平成28年	22所	7所	82人	39人
令和3年		33所		146人



Ⅳ　更別村の生活環境の現状

道路整備や水洗化も進んでおり、平成25年3月には高規格幹線道路更別ICが開通し、より利便性がよくなりました。また、環境にやさしい村づくりとしてリサイクル活動を進めているほか、エネルギー問題への対応として「新エネルギービジョン」に基づき太陽光発電システムの導入やバイオガスプラントなどの導入に取り組み、太陽光発電システム導入補助も実施しています。

1．道路橋梁の整備状況【建設水道課】令和６年４月１日現在

種別／区分	実延長	改良延長	舗装延長	橋数	橋梁延長
国　道	25,247m	25,247m	25,247m	14橋	236m
道　道	47,384m	47,384m	47,384m	16橋	318m
村　道	472,680m	240,284m	217,747m	155橋	2,393m

2．給水状況の推移【建設水道課】

年／区分	給水世帯	給水人口	普及率	給水量	1人1日平均給水量
令和元年	1,314戸	3,127人	98.3%	459,472㎥	400ﾘｯﾄﾙ／日
令和2年	1,332戸	3,144人	98.7%	475,137㎥	415ﾘｯﾄﾙ／日
令和3年	1,353戸	3,158人	98.8%	469,168㎥	407ﾘｯﾄﾙ／日
令和４年	1,347戸	3,135人	98.7%	459,639㎥	402ﾘｯﾄﾙ／日
令和５年	1,350戸	3,088人	98.7%	450,555㎥	400ﾘｯﾄﾙ／日

3．水洗化の推移【建設水道課】　　（件）

年／区分	公共下水道	集落排水	個別排水
令和元年	896	46	271
令和2年	915	48	275
令和3年	915	50	284
令和４年	937	49	287
令和５年	935	46	296

４．家庭ごみ（一般廃棄物）収集処理の推移【住民生活課】　（ｔ）

区分／年度		令和元年	令和2年	令和3年	令和４年	令和５年
廃　棄　処　理		306.65	334.28	301.88	304.05	297.06
	可燃	205.89	215.43	205.76	201.10	198.71
	不燃	100.76	118.85	96.12	102.95	98.35
リサイクル処理		473.56	503.93	403.30	413.79	418.75
	一般資源ごみ	235.20	262.34	238.40	227.23	211.82
	金属	23.42	22.60	23.28	12.90	17.55
	ガレキ	6.45	10.26	7.46	20.88	8.46
	木くず	84.64	57.64	60.21	43.00	55.10
	生ごみ	47.10	47.89	42.25	42.07	38.54
	花殻等	76.75	103.20	31.70	67.71	87.28

※リサイクル処理はリサイクルセンターで受入れた数量

５．村営住宅の状況【建設水道課】

令和６年３月末日現在

世　帯　用			単身者用	シルバーハウジング	合計
2DK	2LDK	3LDK	1LDK	2LDK	
44戸	77戸	72戸	56戸	30戸	279戸

６-１．村営バス運行実績の推移【建設水道課】

年度／区分	運行日数	利用人数	運行距離
令和元年	198日	5,152人	18,432km
令和2年	197日	4,848人	18,078km
令和3年	217日	3,504人	18,941km
令和４年	２４６日	3,524人	21,627km
令和５年	２４５日	4,359人	21,268km

※令和３年１０月より乗合タクシー導入により村民バス運行日、運行経路変更

６-２．乗合タクシー実績の推移【企画政策課】

年度／区分	運行日数	利用人数	1日平均
令和4年	182日	818人	4.5人／日
令和5年	247日	643人	2.6人／日

※令和３年１０月より乗合タクシー導入
※令和５年（令和４年１０月から令和５年９月実績）

Ⅴ　更別村の安心・安全を守る取組状況

平成28年度より十勝管内のすべての消防署が「とかち広域消防事務組合」として新たにスタートし、南十勝消防事務組合更別支署はとかち広域消防事務組合更別消防署となりました。市町村の境界に関係なく、最も近い消防署から現場に出動することとなり、現場への到着時間の短縮、また、広域連携が図られることとなりました。交通死亡事故は平成30年に1件発生したことを受け、さらなる予防啓発活動に取り組んでいます。

１．消防施設・消防団の状況

【とかち広域消防事務組合更別消防署】　令和6年度

区　　分		数　量
消防施設	水槽付ポンプ自動車	3台
	小型動力ポンプ積載車	1台
	小型動力ポンプ付水槽車	1台
	高規格救急自動車	1台
	指揮広報車	1台
	資機材搬送車	1台
	防火井戸	7基
	防火水槽	35基
	消火栓	41基
消防団	分団数	2分団
	団員数	62人

２．救急車出動状況の推移

【とかち広域消防事務組合更別消防署】

区分／年	令和元年	令和2年	令和3年	令和４年	令和５年
出動回数	125回	133回	138回	141回	161回
搬送人員	126人	127人	134人	134人	158人

３．火災発生状況の推移

【とかち広域消防事務組合更別消防署】

区分／年	令和元年	令和2年	令和3年	令和４年	令和５年
件　数	7回	2回	3回	2回	1回
損害額	19,443千円	100千円	2,367千円	0千円	146千円

４．交通事故発生状況の推移【住民生活課】

年／区分	発　生		死　者		傷　者	
	全　道	更別村	全　道	更別村	全　道	更別村
令和元年	9,595件	4件	152人	0人	11,046人	6人
令和2年	7,898件	0件	144人	0人	9,043人	0人
令和3年	8,304件	0件	120人	0人	9,598人	0人
令和４年	8,457件	1件	115人	0人	9,785人	1人
令和５年	9,082件	2件	131人	0人	10,601人	2人

Ⅵ　更別村の保健福祉の現状

誰もが心身ともに健やかに暮らせる村づくりを進めるため、乳幼児から高齢者まで定期的に健診を受けられる機会を設け、疾病予防や早期発見に役立てています。また、北海道家庭医療学センターとの提携による医師等の派遣、シルバーハウジング、生活支援ハウス、社会福祉法人博愛会による小規模特別養護老人ホームやデイサービス及び「訪問看護ステーションかしわのもり　はれ」による訪問看護サービスなどにより、サービスの充実が図られています。

１．国民健康保険事業の推移【保健福祉課】

区分／年度		令和元年	令和2年	令和3年	令和４年	令和５年
年平均世帯数:	世帯	481	475	488	482	472
年平均被保険者数:	人	1,221	1,202	1,205	1,194	1,173
保険税総額:	千円	186,784	193,056	164,937	191,372	191,672
1人当保険税額:	円	152,976	160,612	136,877	160,278	163,403
1世帯当保険税額:	円	388,324	406,433	337,985	397,037	406,085
医療費総額:	千円	359,902	356,569	340,251	290,091	318,938
1世帯当医療費:	円	748,237	750,671	697,235	601,848	675,716
1人当医療費:	円	294,760	296,646	282,365	242,957	271,899

２．介護保険事業の推移【保健福祉課】

（人、％：年度末）

年度／区分	要支援		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計	高齢化率
	1	2							
令和元年	32	40	47	18	21	13	11	182	31.06
令和2年	31	29	46	29	22	15	7	179	31.07
令和3年	33	30	53	26	24	20	6	192	31.49
令和４年	27	30	47	27	29	19	7	186	31.35
令和５年	23	23	52	29	25	19	10	181	31.93

３．デイサービスセンター利用者数【保健福祉課】

（人）

年度／区分	利用者数
令和元年	3，271
令和2年	3，022
令和3年	3，430
令和４年	3，433
令和５年	3，362

4　健康診査の状況【保健福祉課保健推進係、子育て応援課母子保健係】

1）乳児健康診査

（年度　延べ人数）

区分／年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和４年	令和５年
対象者数:人	105	80	１２８	１２８	９７
受診者数:人	105	80	１２３	１２３	９６
受診率:%	100.0	100.0	９６．１	９６．１	９９．０

2）１歳６か月健康診査

（年度　延べ人数）

区分／年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和４年	令和５年
対象者数:人	25	26	35	19	33
受診者数:人	25	25	35	19	33
受診率:%	100.0	96.2	100.0	100.0	100.0

3）３歳児健康診査

（年度　延べ人数）

区分／年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和４年	令和５年
対象者数:人	33	26	34	32	18
受診者数:人	29	26	31	31	18
受診率:%	87.9	100.0	91.2	96.9	100.0

4）特定健診

（年度　延べ人数）

区分／年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和４年	令和５年
対象者数:人	716	702	707	699	713
受診者数:人	462	407	452	428	432
受診率:%	64.5	58.0	63.9	61.2	60.6

データでみる更別

Ⅶ　更別村の教育の現状

学校教育はたくましさと心の豊かさを備えた幼児教育に始まり、知・徳・体の調和の取れた人間形成の取組みに向けて、平成20年11月制定の「更別村の教育の日」のもとに、学校と家庭そして地域が連携し教育環境の整備を進めています。また、村民一人ひとりが生きがいやゆとりを持てる村づくりを進めていくため各種講座開催や少年団活動、クラブ活動への支援を行っています。また、令和元年度からはコミュニティスクールも開始しています。

1　園児・児童・生徒数の推移【学校基本調査、農業高校】　（人）

区分／年度		令和２年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
更別・上更別幼稚園	男子	29	29	26	22	17
	女子	21	26	17	２０	10
	総数	50	55	43	42	27
更別・上更別小学校	男子	87	87	74	79	79
	女子	69	70	75	70	67
	総数	156	157	149	149	146
更別中央中学校	男子	46	48	51	53	44
	女子	41	41	40	３８	39
	総数	87	89	91	91	83
更別農業高等学校	男子	73	71	60	60	57
	女子	43	36	35	30	45
	総数	116	107	95	90	102

2．スポーツ少年団の状況【教育委員会】　（令和６年度）

スポーツ名	少年団の名称	団員数
	上更別スポーツ少年団	23名
野球	更別野球少年団	25名
柔道	更別柔道少年団	4名
スケート	更別スケート少年団	47名
水泳	更別水泳少年団	33名
バレーボール	更別JVC	17名
	合計	149名

3．末広学級（高齢者学級）・講座の推移【教育委員会】

区分／年度		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
末広学級	生徒数	150人	129人	97人	71人	62人
	開催日数	23日	14日	16日	23日	23日
	クラブ数	5部	5部	5部	5部	4部
趣味講座	講座数	18講座	13講座	5講座	5講座	6講座
	受講者数	144人	84人	37人	45人	48人

4　「海と大地」子ども交流事業【教育委員会】

友好姉妹都市　宮城県東松島市（旧矢本町）

年　月	交流内容
昭和58年	更別村青年団国内研修団が矢本町を視察訪問
平成３年	矢本町子ども交流訪問団が更別村来村（第１回子ども交流）
平成４年	更別村子ども交流訪問団が矢本町訪問（以後、交互に訪問）
平成９年	開村50周年記念事業として、矢本町と更別村が友好姉妹町村盟約を締結
平成17年	矢本町と鳴瀬町が合併し東松島市が誕生し、改めて友好姉妹都市盟約を締結
平成18年	東松島市と災害時相互応援協定を締結
平成23年3月	東日本大震災発生（3月11日）による支援のため義援金、物資提供及び応援職員を派遣
平成23年７月	震災があった年も中止することなく、東松島市子ども交流訪問団が７月に更別村来村（第21回子ども交流）、以後、毎年相互に訪問し交流
令和２年12月	新型コロナウイルス感染症対策により交流が初めて中止となり、12月にリモート交流実施
令和３年	新型コロナウイルス感染症対策により実施１週間前に開催中止となり、代替事業として物産交流を実施し特産品を相互の児童に贈呈
令和４年	東松島市子ども交流訪問団が更別村来村、３０回の交流を記念し感謝状贈呈
令和５年	更別村子ども交流訪問団が７月に東松島市を訪問（第３１回子ども交流）

5　更別村の郷土芸能【教育委員会】

スッチョイサ踊り保存会	**スッチョイサ踊りは昭和61年、村に郷土芸能を創造しようと当時の社会教育委員会（道見直盛委員長）が「郷土芸能専門委員会」を設置し、発掘調査に着手したのをきっかけに誕生。同委員会は昭和20年代に勢雄、平和、旭各地区などで豊年祈願として受け継がれていたスッチョイサ踊りに注目。調査の結果、石川県からの開拓移民が伝えた踊りが更別に根付く中で、変化してきた独自のものと考えられ、村の伝承郷土芸能として登録された。現在は、通学合宿や子ども交流の中で体験の機会が設けられている。**
さらべつかしわ太鼓保存会	**村の新しい郷土芸能として平成3年に保存会が設立。勇壮なバチさばきによる演奏は高い評価を受けている。現在は保存会及び保存会が指導する少年部も活動し、大収穫祭や、村外のイベントでも演奏を披露している。かしわ太鼓設立時に作られた大きな柏の幹をくり貫いて作った太鼓は少年部が主に演奏する「勇駒」の中で使用されている。**

5　更別村の遺跡など【教育委員会】

更別発祥の地

更別村字勢雄東一線一一号
明治三八年（一九〇五）五月

更別の開拓前の姿は、アイヌの人々がつけた地名（サラ・ペツ）どおり、見渡す限りの芦葦に覆われた広大な草原と、丘陵高台地帯の一面柏の続く樹林であった。明治三一年の現更別村域には、イタラタラキ駅通以外人家がなく、三二年『第六北海道移住案内』にイタラタラキ原野の紹介記事が初めて掲載され、明治三八年最初の開拓のクワを入れたのが、富山県西礪波郡西五位村出身の山田嘉一郎兄弟である。嘉一郎氏は、政治・経済・教育と多岐にわたって活躍し、明治三九年第一回勅別村会議員・大正六年（一九一七）『私立平糠教授場』を更別で最初の学校（生徒九名、先生一名）として開設した。

大正　六年　島　根　団　体　入植
九年　愛　媛・山　形・青森団体　入植
十年　徳　島　団　体　入植
十五年　広　島・群　馬団体　入植
昭和　五年　香　川　団　体　入植
十年　戦後開拓　団　入植
二三年　勢雄・協和地区・更別村に編入

昭和二二（一九四七）年九月一日　大正村から更別村分村独立

現在地　寄贈　中央町　山内一勇氏
平成五年十一月一日建設
更別村教育委員会

歴史いろいろ

○約2万年前の更別は、旧石器時代。昭和50年に発見された勢雄遺跡からその痕跡が出土しました。
○明治38年山田嘉一郎氏が勢雄に入植。最初の入植者です。
○天然記念物「ヤチカンバ」昭和38年に北海道天然記念物に指定。

天然記念物

更別湿原ヤチカンバ

昭和三八年七月二六日

北海道天然記念物に指定

このヤチカンバは灌木性のカンバで、ヒメカンバ類と呼ばれ、主に北極のツンドラ地帯に成育し、灌木原を形成している。

北極のツンドラ灌木原が今から数万年前の氷河期に十勝地方にはいり、温暖となったのちも生育条件に適した更別湿原に遺存されたもので、高湿多雨の気候条件のもとに、種の固有化が進み新種となったものと考えられる。

ヤチカンバの分布は現在までのところ、この更別湿原しか知られていないもので、氷河期以後の極地植物の隔離と種の固有化、地質学、地理学、気象学、進化学上きわめて、意義あるものとされている。

このヤチカンバは、北海道大学教授・館脇博士の指導のもとに、渡辺定元、大木正夫両氏が、分類学的研究の結果、昭和三四年十一月、新種であることが発表されたものである。

平成四年十一月二日建設
更別村教育委員会

Ⅷ　更別村の行政の現状

１．令和６年度一般会計当初予算（総務課）

	科　目	金額(千円)
歳入	村税	626,109
	地方譲与税	130,214
	利子割交付金	277
	配当割交付金	1,221
	株式等譲渡所得割交付金	1,316
	法人事業税交付金	6,950
	地方消費税交付金	70,546
	環境性能割交付金	10,614
	地方特例交付金	4,564
	地方交付税	2,200,000
	交通安全対策特別交付金	645
	分担金及び負担金	46,955
	使用料及び手数料	131,265
	国庫支出金	511,743
	道支出金	289,784
	財産収入	15,765
	寄附金	465,000
	繰入金	315,461
	繰越金	50,000
	諸収入	102,700
	村債	697,627
	歳入合計	5,678,756

	科　目	金額(千円)
歳出	議会費	51,071
	総務費	1,782,368
	民生費	793,871
	衛生費	424,493
	労働費	7,140
	農林水産業費	410,582
	商工費	134,721
	土木費	641,441
	消防費	223,512
	教育費	608,915
	災害復旧費	3,300
	公債費	591,837
	諸支出金	1,505
	予備費	4,000
	歳出合計	5,678,756

２．公共施設の年間利用状況（住民生活課、教育委員会、産業課、保健福祉課）

区分／年度	令和元年	令2元年	令和3年	令和4年	令和5年
更別村社会福祉センター	8,375人	6,421人	6,595人	8,878人	7,888人
更別村農業者トレーニングセンター	12,154人	10,411人	8,265人	11,773人	13,596人
更別村コミュニティプール	5,958人	2,897人	3,541人	5,013人	5,013人
更別村ふるさと館	12,361人	9,026人	9,081人	10,102人	11,643人
更別村柔剣道場	1,532人	1,084人	1,491人	2,223人	1,649人
更別村老人保健福祉センター 福祉の里温泉	35,503人	30,263人	25,335人	28582人	29,484人
更別村農村環境改善センター	8,787人	6,628人	5,747人	6,946人	7,185人
改善センター図書室	8,798冊	7,653冊	5,980冊	6,328冊	7,472冊

３．行政機構・議会構成【令和６年４月１日現在】

■　役　場

村　長	副村長	総　務　課	庶務係 財政契約係 広報係
		企画政策課	政策調整係 地域開発係 スーパービレッジ推進室
		産　業　課	農業振興係 耕地森林係 商工労働観光係
		住民生活課 （会計管理者：住民生活課長）	戸籍窓口係 住民生活係 税務係 出納係
		建設水道課	土木車両係 建築係 上下水道係
		保健福祉課	福祉係 国保介護係 保健推進係
		子育て応援課	子育て応援係 母子保健係 更別幼稚園 認定こども園上更別幼稚園
		診　療　所	総務係 看護係

■　教育委員会

教育長	教育委員会事務局	学校教育係 社会教育係
	学校給食センター	

■　議　会

		議会事務局	
議長	副議長	常任委員会	総務厚生常任委員会 産業文教常任委員会
		議会運営委員会	

■　農業委員会

農業委員会長	農業委員会事務局	農地係

■　監査委員・公平委員会・選挙管理委員会

事務局

■　とかち広域消防事務組合

更別消防署	庶務1係、庶務2係 警防1係、警防2係 予防1係、予防2係

■ 主要官公署等一覧（市外局番0155）

施設名		TEL	FAX
村関係	更別村役場	52－ 2111	52－ 2812
	更別村社会福祉センター	52－ 2111	52－ 2812
	更別村教育委員会	52－ 3171	52－ 3173
	更別村農村環境改善センター	52－ 3171	52－ 3173
	更別村柔剣道場	52－ 3171	52－ 3173
	更別村農業者トレーニングセンター	52－ 3171	52－ 3173
	更別村コミュニティプール	52－ 3503	
	更別村ふるさと館	52－ 2211	53－ 3005
	更別村屋内ゲートボール場	52－ 3538	
	更別村国民健康保険診療所	52－ 2301	53－ 2100
	更別村歯科診療所	52－ 2128	
	更別村老人保健福祉センター（社会福祉協議会）	53－ 3500	52－ 2161
	更別村保健福祉課（更別村福祉の里総合センター内）	53－ 3000	53－ 2111
	更別村子育て応援課（更別村福祉の里総合センター内）	53－ 3700	53－ 2111
	生活支援ハウス	52－ 2233	52－ 2161
	シルバーハウジング	52－ 2320	
	更別浄化センター	53－ 3002	
	更別憩の家	52－ 2666	
	上更別福祉館	52－ 3131	
	とかち広域消防事務組合更別消防署	52－ 2201	52－ 2032
	上更別消防会館	52－ 3000	
	更別村営牧場	52－ 2459	
	さらべつどんぐり公園（プラムハウス）	52－ 2406	52－ 2406
	道の駅さらべつ「ピポパ」	53－ 3663	53－ 3301
	さらべつカントリーパーク	52－ 5656	52－ 5600
	更別村地域創造複合施設（sarapark）	52－ 3455	67－ 0250
学校等	更別幼稚園	52－ 2363	52－ 2518
	認定こども園上更別幼稚園	52－ 2470	52－ 2769
	認定こども園どんぐり保育園	52－ 3576	52－ 3579
	更別村学童保育所	52－ 3576	52－ 3579
	更別小学校	52－ 2360	52－ 3571
	上更別小学校	52－ 2461	52－ 3581
	更別中央中学校	52－ 2838	52－ 3591
	更別農業高等学校	52－ 2362	52－ 2261
	更別村学校給食センター	52－ 2125	52－ 2668

施設名		TEL	FAX
国・道関係機関	帯広警察署更別警察官駐在所	52－ 3232	52－ 3232
	更別郵便局	52－ 2200	52－ 2533
	上更別郵便局	52－ 2300	52－ 2566
各種団体	更別村農業協同組合	52－ 2377	52－ 3264
	北海道農業共済組合更別家畜診療所	52－ 2316	52－ 2317
	更別村商工会	52－ 2010	52－ 2019
	更別森林組合	52－ 2068	52－ 2404

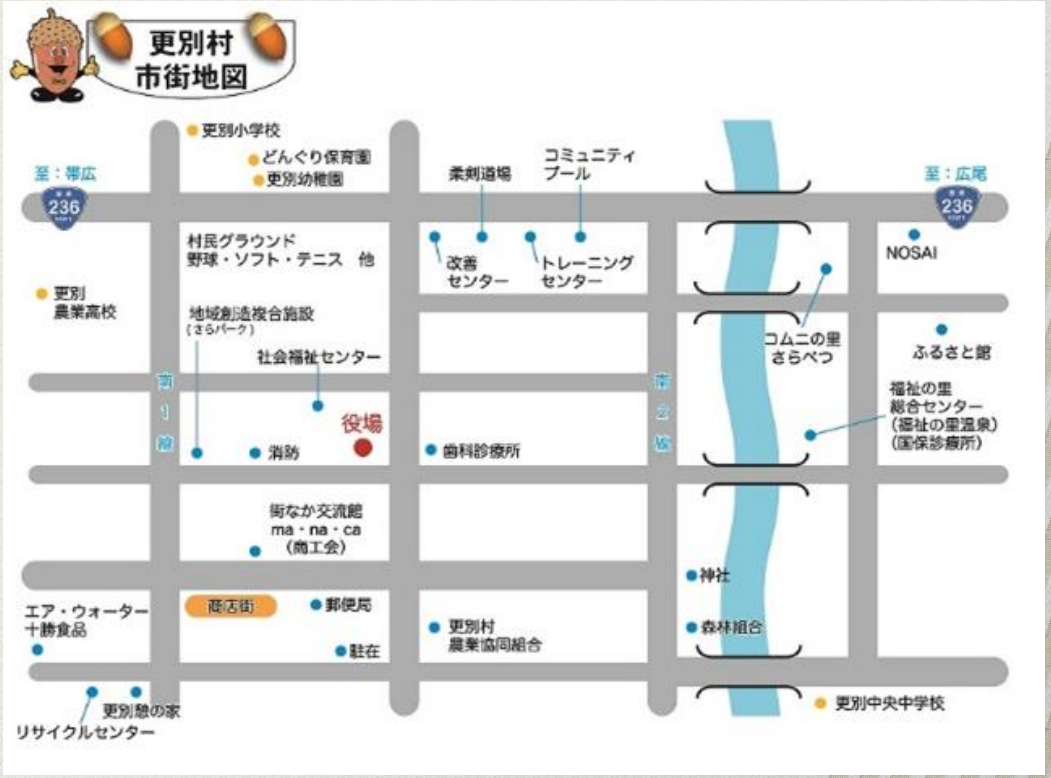
ようこそ！さらべつへ

更別村長　西山　猛

更別村は、雄大な日高山脈が一望でき、広大な十勝平野の南部に位置し、帯広空港から車で南へ約15分の所にあります。帯広空港から羽田空港へのフライト時間は1時間30分なので、東京へは日帰りが可能であり、**「首都圏域と隣接した農業の村」**です。

本村は、農家1戸当たり東京ドーム約10個分以上（50.7ha）の農地を有する **日本随一の大型農業の村**であり、食糧生産基地です。

また、国民健康保険の一人当たりの医療費の低さや合計特殊出生率（女性が一生に生む子供の平均数）の高さから 健康と豊かさを実感できる村です。自立する村として**「住みたい 住み続けたいまち ともにつくろう みんなの夢大地」**を総合計画の目標にがんばっております。北海道・十勝にお出かけの際は、雄大な日高山脈が一望でき、広大な十勝平野の真ん中に位置する更別村にぜひお立ち寄り下さい。



更別村のビューポイント

どんぐり公園横の「すももの里」。５月中旬には白い花をいっぱい咲かせ、秋にはおいしい実をたくさんつけます。

更別村は全国からカメラマンが訪れるほど、知る人ぞ知る霧氷の美しいところです。撮影ポイントは勢雄地区。氷点下２０℃以下になる寒い朝、猿別川の水面から立ち上る水蒸気が霧氷となり、幻想の世界をつくり出します。

更別村を代表する作物 「じゃがいも」。初夏には白やピンクの花が咲き、一面見事な花畑になります。

小柏の林が防風林などとして残されています。柏の紅葉は鮮やかで、その葉は新緑が出てくるまで、枝から落ちないで残っています。

昔、イタラタラキ川流域は葦（あし）、茅（かや）の密生した平原でした。周囲が畑地になった今も、川の流れは変わらぬ美しさです。

この他にもたくさんのビューポイントがありますので、更別村ホームページhttp://www.sarabetsu.jp/をご覧ください。

更別村の特産品

従来の特産品に加え、特産品開発チャレンジ事業を活用し、村内のお店で様々な開発が行われています。

（農　産　物）

（つぶつぶでんぷん）

（さらべつ和牛ビーフカレー）

（さらべつすもものむヨーグルト）

（どんぐりむらのポテトチップス）

（酪　佳）

（さらべつピュアドライすもも）

（すもものチーズケーキ）

（さらべつむらのなまうどん）

この他にもイオンたまご、うどん乾麺、更高キーマカレー、はちみつ、すももジャム、すももサイダー、すももドレッシング、菜の花オイル、つぶあん、甘納豆などがありますので、ぜひ更別村にお立ち寄りください。

広報さらべつ

村facebook

村ホームページ

観光情報facebook

@SARABETSU_KOUHOU

フォローよろしく
お願いします。

@SARABETSUMURA_TOUR

令和６年７月発行
更別村総務課広報係
北海道河西郡
更別村字更別南１線93番地
電　話　0155-52-2111
ＦＡＸ　0155-52-2812
ＨＰ　http://www.sarabetsu.jp/
e-mail　soumu@sarabetsu.jp